

## 震災ボランティア at 福祉プラザ in 2011.5.28 by ボランティア同好会

急ですみませんが、と災害ボランティアセンターから前日に電話がありました。被災地の子供たちに贈られたプレゼントを詰め込んだ大きな段ボールを200個ほどアメリカ軍が運んでくれましたが、その中身の仕分け作業のボランティアをしてくれる方が何人かいませんか、というものでした。同好会の1～2年生は翌日に街頭募金を控えているため3年生のリーダーだけ数人呼んで内容を伝え、参加者を募らせました。結果は7人の申し出でした。



品物の文字は中東の文字が殆どでした。中身のパターンは決まっていて、用意したプレゼントのリュックには学用品一式と絵本、小さいぬいぐるみやおもちゃ、お菓子や歯ブラシまで入っていました。中には手紙も。それらを、小学校高学年か低学年か、女の子用か男の子用かどちらでもよいか、というふうに分けてゆきます。ボランティアは他に大学生らしい男女が7～8人いました。

アメリカ軍からのプレゼントは予想をはるかに超えていて、かなりびっくりしました。1つ1つのリュックの中を見ていくと、手紙の入っているリュックもありました。何となくですが、気持ちが伝わってきました。プレゼントもとても嬉しい物だなと感じました。この作業をしながらわたしも物を使わなくなったらできるだけ寄付したいと思いました。(3年)



皆が一生懸命やっていたので、終了予定が早まってよかったです。反省点としては途中で疲れてしまい、作業があまりはかどらない時間がありました。次にやるときはもっと時間の流れにメリハリを自分でつけて上手く集中できるようにしたいです。(3年)



ボランティア同好会で普段行っている炊き出しや募金以外のボランティアでこのようなプレゼントの仕分けなどは初めてでした。また社会人・大学生・高校生とバラバラな年代層が混じって行うのも珍しいことで、いろいろお話もできてとても充実したボランティア活動でした。また手紙などで世界中の子どもたちの思いやりや優しさを感じることができました。(3年)

( 同好会顧問 記 )

2011/06/04 (Sat) 13:13